

道央廃棄物処理組合だより

千歳市・北広島市・南幌町・由仁町・長沼町・栗山町 令和3年3月発行

焼却施設の建設工事が始まりました

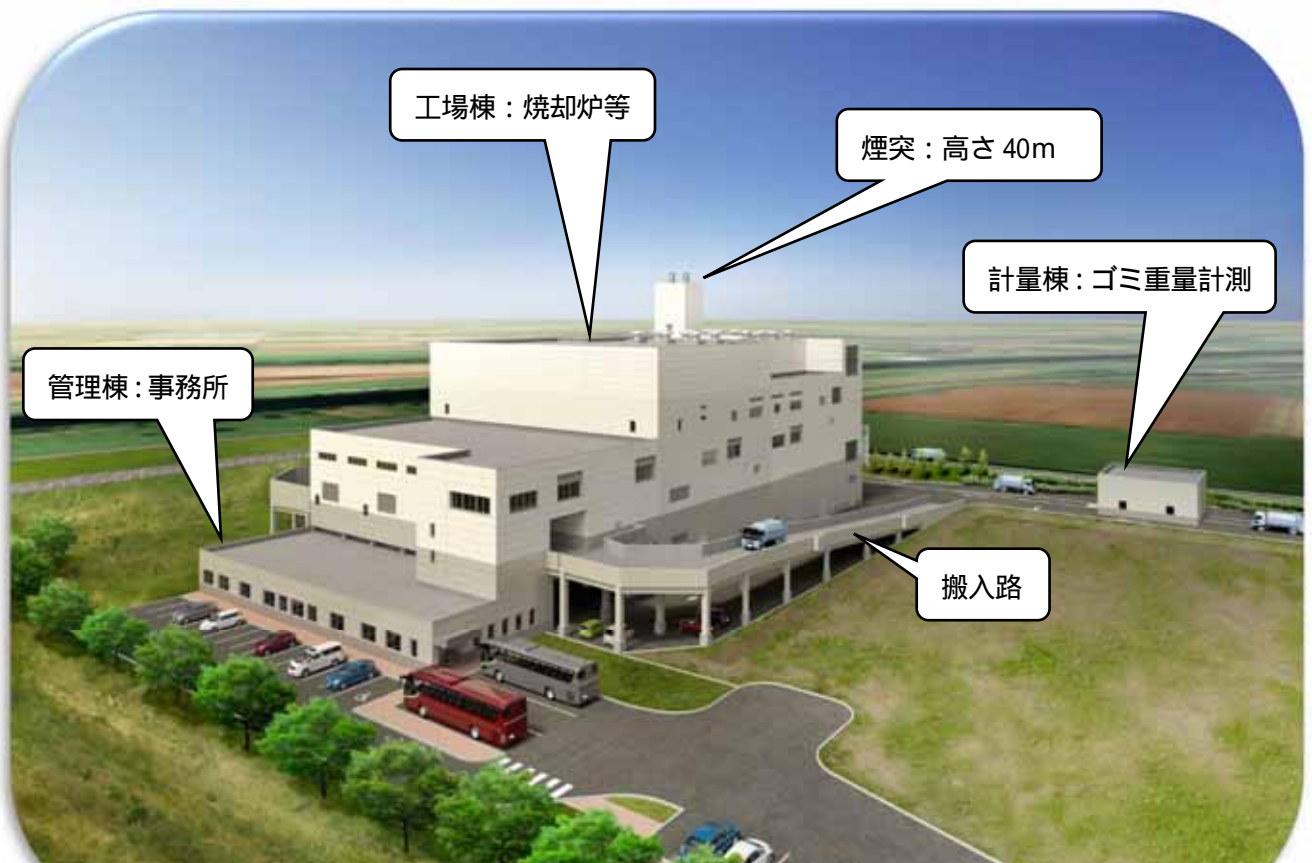
令和6年4月からの稼働に向けて準備を進めています焼却施設建設工事が千歳市根志越地区で、令和2年7月から始まりました。

建築工事は、令和3年4月からの予定ですが、軟弱地盤対策としての盛土を行っています。

設計施工は、日立造船・五洋建設・丹波組 特定共同企業体が行っており、環境影響調査の結果、ダイオキシン類の環境保全目標値を大きく下回ることが報告されています。

(環境保全目標値 $0.60 \text{ pg-TEQ} / \text{m}^3\text{N}$ 、調査結果 $0.018613 \text{ pg-TEQ} / \text{m}^3\text{N}$
 0.6 pg (ピコグラム:1兆分の1g)・・・札幌ドームに角砂糖約1個を混ぜた濃度に相当)

焼却施設完成予想図



この施設の建設は、防衛省からの補助金(防衛施設周辺整備事業)を活用し実施しています。

盛土施工状況

令和2年12月15日 撮影



皆様からの疑問にお答えします

新しい焼却施設では、プラスチックも燃やすのですか？

千歳市・北広島市・南幌町・由仁町・長沼町・栗山町では、プラスチック類を極力リサイクルしていますが、リサイクル出来ないものは、燃やせるごみと一緒に新しい焼却施設で焼却します。

また、プラスチック類を燃やすことで熱量が高くなるため、その熱を利用して発電し焼却施設で使用します。なお、余った電気は、売電を予定しています。

プラスチックを燃やすとダイオキシンが発生しませんか？

ダイオキシン類は、工業的に製造する物質ではなく、物を燃やす過程などで発生する物質であり、「タバコの煙」や「自動車排出ガス」など、生活環境の中に広く存在しています。

新しい焼却施設では、塩化ビニールなどのプラスチック類が混じったごみでも、最新の技術を用いて850以上の高温でごみを最適に燃やすことにより、ダイオキシン類の発生を抑制するとともに分解します。また、排ガスは複数の高度な排ガス処理施設を用いてきれいにします。

なお、ダイオキシン類の大気中の環境基準値は0.6pg-TEQ/m³N以下ですが、このような最新かつ信頼できる技術を用いることで、法規制値より厳しい約0.018613pg-TEQ/m³Nの排出予測でありますので、周辺環境に配慮して、運転管理を適切に行います。

運転状況を知らせる電光掲示板などの設置は考えていますか？

新しい焼却施設では、道道967号(馬追原野北信濃線)に面して、排ガスの濃度などをお知らせする、電光掲示板などの設置を予定しています。また、ホームページでは、より詳しい情報を提供することとしています。

編集・発行・問い合わせ先 道央廃棄物処理組合

〒066-0042 千歳市東雲町2丁目34番地6 千歳市西庁舎2階

事務所が移転しました。(電話番号等の変更はありません。)

TEL 0123-40-5300

FAX 0123-23-0053

E-mail info@douou53kumiai.jp

ホームページ <http://www.douou53kumiai.jp/>